

# 市独自のPCR検査は

加藤 敏彦 議員



PCR検査を実施する考えはない  
健康子ども部長

**問** 新型コロナウイルス

感染者数は、3月9日現在、愛西市で192人となっている。亡くなった方は10人である。

市のワクチン接種について、どうなっているか。

**答** 医療従事者向けで先行接種が始まった。市への

ワクチンは、4月後半に1箱が配送される。

個別接種については16カ所予定をしている。

**問** 元日本がん学会の会

長の黒木登志夫さんが新型コロナウイルスについて、「非常に賢いウイルスで、その特徴の一つは、発症する前に無症状で感染し、

知らないうちに広がってしまうことだ。このウイルスをチェックするには、PCR検査と抗原検査しか

ない」と述べている。



変異ウイルスが広がれば、感染拡大のスピードが速まり、患者が一気に増える可能性が高い。

集団感染を防ぐため、医療機関、高齢者施設、保育園、学校などの勤務者を対象とした社会的検査の実施と、一般市民を対象とした市独自のPCR検査の体制の確立が必要と考えるが、市の見解は。

**答** 社会的検査やPCR検査を実施する考えはない。

市は、平和首長会議に加盟しており、市民一人ひとりが日常生活の中で平和について考え、行動することを推奨している。

私たちは子や孫たちにとって核兵器のない社会をつくることの責任があると認識している。

PCR法		
	鼻咽頭ぬぐい液	唾液
容器		

▲市独自にPCR検査実施を

## 核兵器禁止条約の批准の考えは

**問** 広島、長崎に原子爆弾が投下されてから72年

目の2017年7月7日、人類史上初めて核兵器を

違法化する核兵器禁止条約が国連で122カ国の

圧倒的多数の賛成で採択された。1月22日より核

兵器禁止条約が発効した。

市長はこの核兵器禁止条約について、非核・平和

宣言を行っているまちの長として、どのような見

解を持っているか。